

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 4月 29日

事業所名 : いろは

(%)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100	0	・活動内容や状況に応じて環境構成を行っている	
	2 職員の配置数は適切である	100	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	60	40	・階段に手すりを設置 ・入口に段差がなくバリアフリー化されている ・視覚的に表示をおこなっている	・現在、バリアフリーを必要とする児童がいない為、今後必要となった場合にトイレの手すりやスロープの設置など利用児童の特性に応じて対応を検討する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100	0	・日々、清掃がおこなわれている	
業務改善	5 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100	0		アセスメントシートを定期的に更新し、支援内容の把握・改善に努める
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100	0	・アンケート集計後、話し合い改善に努めている	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20	80		現在外部評価は行っていないが、今後必要があれば検討する
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100	0	・パートまで充実した研修を実施している	外部研修にも参加し、支援の質の向上に努める
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100	0		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100	0		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	80	20	・個別支援計画書に記載している	・支援会議等で、保護者様からのご意見、情報などを共有し、支援内容を進めていく
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	80	20		・細かな内容まで検討、共有する必要がある
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100	0	・様々な体験、経験ができるよう工夫している ・スタッフ間で意見を出し合いながら活動について決めている	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100	0	・必要な内容や引継ぎなどスタッフ間で共有をしている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80	20	・児童の様子や当日の活動内容、緊急時など把握が必要な引継ぎは事前にスタッフ間で共有をおこなっている ・スタッフ間で当日の打ち合わせ、引継ぎが必要な内容等共有する時間を設けている	・支援開始ギリギリの時もある為、朝礼後に、mtgの時間を設けてスタッフ間で引継ぎ等の情報共有が十分に行えるよう実施する
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60	40	・支援後、現場での気になった点等、一日を振り返る時間を設けてスタッフ間で共有をおこなっている ・スタッフ間で引継ぎ事項等随時共有を行い周知し、統一支援に努めている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80	20	・毎日、サービス提供記録簿を記録し日々の児童の様子や変化を細かく記載し改善や今後の支援につなげている	日々の支援において支援会議などで話し合う機会をつくり、支援の改善に努める
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100	0	・半年に1回モニタリングをおこない見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	40	60		開催される際はサービス管理責任者などの適任者を選定し出席する
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	20	80		今後ニーズがあれば、実施する
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	20	80	・医療ケアが必要な児童がいない為	現在、対象児童がいない為、今後必要な場合に検討する
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	20	80	・医療ケアが必要な児童がいない為	現在、対象児童がいない為今後必要な場合に体制等整える
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	20	80		今後ニーズがあれば検討する
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	20	80		今後ニーズがあれば検討する
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80	20	・発達支援センター等の専門機関とモニタリングを通して支援などについて共有をおこなっている ・発達支援センター等の専門機関と日常の様子などの情報共有を行い、連携を図っている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	80	20		・今後、こども食堂を中心に交流できる機会を広げていけるよう努める
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	100		・今後ニーズがあれば、参加を検討する
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100	0	・送迎や懇談などを設けて情報の共有をおこなっている ・連絡帳の活用で交流できている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100	0		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100	0		
保護者への説明責任等	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80	20	・個別懇談やご希望があった際にも随時対応を行っている	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80	20	・年に1回保護者会を開催している	・保護者同士の連携の支援 ・保護者会の開催回数の検討
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100	0	・相談があった場合に会議などで議題にあげて全スタッフで共有し対応について話し合っている	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100	0	・行程表の配布をおこなっている	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	100	0		
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100	0		
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	40	60		近隣の幼稚園が参加する行事など実施しているが、今後規模を拡大した実施を検討する
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100	0	・感染症について状況に応じて随時更新し保護者に周知している	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100	0	・2か月に1回避難訓練を実施している	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100	0		
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100	0		
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100	0		
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100	0	・虐待防止研修を年に1回おこない、委員会も数回おこなっている	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	40	60	・身体拘束を必要とする児童がいない	・今後必要となる場合に、個別支援計画書に記載する

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。